

## 令和4年度事務事業評価シート（令和3年度決算）

事業コード	711 - 2 -	作成者氏名	松本 葉子	連絡先	0833-72-1494
事務事業名	農業振興施設管理事業		担当課	農林水産課	
予算費目	一般会計	款 6	農林水産業費	項 1	農業費
第2次 総合計画	基本目標	コード	5	項目	産業の活力とにぎわいがゆたかに行き渡るまち 生き生きと働くために 農業の振興
	重点目標		1		
	政策		1		
					第2次総合計画 172頁

対象	施設利用者	意図 (対象をどのようにしたいのか)	施設の適正な維持管理を行い、利用者が適切に利用できるようにする。
事務事業の概要	市民農園（三井、岩田、室積）の区画の貸付け、適切な維持管理を行い、快適な利用環境を整えることで、農作業を通じた農業への理解を深める場とする。		

事務事業の成果指標	単位	2年度実績	3年度			6年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
市民農園利用率	%	88.5	87.4	100	87.4%	100	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）				業務評価	重点業務
		指標名	単位	2年度実績	3年度実績		
		事業費	単位	2年度決算	3年度決算	4年度予算	
1	市民農園運営業務	貸付区画 事業費	区画 千円	77 113	76 134	87 175	A ◎
2	ライスセンター管理業務	事業費	千円	4	5	265	D
3		事業費	千円				
4		事業費	千円				
5		事業費	千円				
6		事業費	千円				
7		事業費	千円				
8		事業費	千円				
9		事業費	千円				
10		事業費	千円				
11		事業費	千円				
12		事業費	千円				
13		事業費	千円				
14		事業費	千円				
15		事業費	千円				
直接事業費の合計（千円） A				117	139	440	
職員人件費等		業務量（人工数）			0.42人		【業務評価】 A：達成済 目標準プラス見直し B：実施手法の要改善 C：目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し D：業務廃止・完了の意向 E：3年度を以て廃止・終了 F：一時的に実施無し
		人件費（千円） B			3,025		
人件費を含む総事業費（千円） A + B						3,164	
財源内訳		国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他				93	
		一般財源				3,071	

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
農業に対する理解促進と遊休農地の有効活用のために、市民農園運営業務は重要である。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 利用率は概ね9割程度を維持しており、農業への理解促進に一定の成果があると考えられる。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 市民農園を管理運営していくための必要最低限の業務構成となっており、適切といえる。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 農業に対する理解を促進するため、広く市民への利用を呼び掛けるものであり、市が実施することは適切である。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	西村 猛	最終評価責任者 （部長名）	芳岡 統
--------------------	------	------------------	------

## 令和4年度事務事業評価シート（令和3年度決算）

事業コード	711 - 5 -	作成者氏名	松本 葉子	連絡先	0833-72-1494
事務事業名	地産地消推進事業	担当課	農林水産課		
予算費目	一般会計	款 6	農林水産業費	項 1	農業費
				目 3	農業振興費
第2次総合計画	基本目標	コード	5	項目	産業の活力とにぎわいがゆたかに行き渡るまち 生き生きと働くために 農業の振興
	重点目標		1		
	政策		1		
					第2次総合計画 172頁

対象	市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	農業体験など各種事業等を通じ、生産者と消費者の交流を図ることによって、地産地消を推進する。
事務事業の概要	地産地消を推進するため、地産地消プランの推進を図るとともに、地産地消推進事業として農業体験研修等を実施することにより、生産者と消費者の交流を図り、農業への理解を深める。		

事務事業の成果指標	単位	2年度実績	3年度			6年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
体験事業参加者数	人	333	321	550	58.4%	455	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費(千円)				業務評価	重点業務
		指標名 事業費	単位	2年度実績 2年度決算	3年度実績 3年度決算		
1	地産地消プランの推進 ●	事業費	千円	0	0	276	A ○
2	地産地消推進事業委託業務 ●	体験事業コース数		10	6	10	B ◎
		事業費	千円	1,828	2,000	2,000	
3		事業費	千円				
4		事業費	千円				
5		事業費	千円				
6		事業費	千円				
7		事業費	千円				
8		事業費	千円				
9		事業費	千円				
10		事業費	千円				
11		事業費	千円				
12		事業費	千円				
13		事業費	千円				
14		事業費	千円				
15		事業費	千円				
直接事業費の合計(千円) A				1,828	2,000	2,276	
職員人件費等		業務量(人工数)		0.22人		【業務評価】	
		人件費(千円) B		1,585		A: 達成済 目標水準プラス見直し B: 実施手法の要改善 C: 目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し D: 業務廃止・完了の意向 E: 3年度を以て廃止・終了 F: 一時的に実施無し	
人件費を含む総事業費(千円) A+B						3,585	
財源内訳		国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源				3,585	

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
地産地消を推進していく上で、生産者と消費者の交流は重要であり、農業体験の実施は非常に効果的であるため。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 普段農業に接する機会のない人が体験農園に参加することは、農業・農村への理解や関心を高め、地産地消の推進につながるものである。体験研修事業に各種メニューを用意することで、多数の参加者があり、高い効果が得られている。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 普段農業をしない人が農業を体験するためには、農業体験教室の開催は有効な手段といえる。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 「里の厨事業協同組合」に委託している。生産者と消費者の交流を通じた理解や農村地域の活性化といった本事業の目的は、光市農業振興拠点施設「里の厨」の趣旨と一致しており適切である。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	西村 猛	最終評価責任者 （部長名）	芳岡 統
--------------------	------	------------------	------

## 令和4年度事務事業評価シート（令和3年度決算）

事業コード	711 - 8 -	作成者氏名	松本 葉子	連絡先	0833-72-1494	
事務事業名	イベント等開催事業		担当課	農林水産課		
予算費目	一般会計	款 6	農林水産業費	項 1	農業費	
				目 5	地域農政総合推進費	
第2次 総合計画	基本目標	コード	5	項目	産業の活力とにぎわいがゆたかに行き渡るまち	
	重点目標		1			生き生きと働くために
	政策		1			農業の振興
					第2次総合計画 172頁	

対象	農林水産業従事者、市民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	イベントで生産者と消費者との交流を図ることにより、農林水産業振興及び地産地消意識の高揚を図る。
事務事業の概要	ひかりふるさとまつりやイベント等において、ふるさとの文化や伝統を紹介しながら地場産農林水産物を展示・販売することにより、地産地消を促進するとともに、特産品等の販売促進を図る。		

事務事業の成果指標	単位	2年度実績	3年度			6年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
ひかりふるさとまつり来場者数	人	-	-	20,000	-	20,000	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費(千円)				業務評価	重点業務	
		指標名	単位	2年度実績	3年度実績			4年度目標
		事業費	単位	2年度決算	3年度決算			4年度予算
1	ひかりふるさとまつり(補助金)	ふるさとまつり来場者数	人	-	-	20,000	—	◎
		事業費	千円	0	0	3,000		
2	農業等啓発業務	事業費	千円	21	27	30	A	○
3		事業費	千円					
4		事業費	千円					
5		事業費	千円					
6		事業費	千円					
7		事業費	千円					
8		事業費	千円					
9		事業費	千円					
10		事業費	千円					
11		事業費	千円					
12		事業費	千円					
13		事業費	千円					
14		事業費	千円					
15		事業費	千円					
直接事業費の合計(千円) A				21	27	3,030		
職員人件費等		業務量(人工数)			0.59人	【業務評価】	A: 達成済 目標水準プラス見直し	
		人件費(千円) B			4,250			B: 実施手法の要改善
人件費を含む総事業費(千円) A+B						4,277	C: 目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し	
財源内訳		国庫支出金					D: 業務廃止・完了の意向 E: 3年度を以て廃止・終了 —: 一時的に実施無し	
		県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源				4,277		

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
地産地消を推進するとともに、住民参加型のまつりづくりによる郷土の文化・伝統を紹介したまつりに取り組むことで、市民活動の活性化を図ることができ、重要な業務である。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 ひかりふるさとまつりには多数の来場実績があり、地産地消に対する意識の高揚が図られ、一定の成果があると考えられる。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 郷土の文化の伝承や、地産地消意識を高揚させるためには、まつりを開催することは効果的である。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 実行委員会で実施することにより、市民が参加できるまつりづくりが実現できるため、適切である。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	西村 猛	最終評価責任者 （部長名）	芳岡 統
--------------------	------	------------------	------

## 令和4年度事務事業評価シート（令和3年度決算）

事業コード	711 - 11 -	作成者氏名	藤岡 晴恵	連絡先	0833-72-1509
事務事業名	単独土地改良事業		担当課	農林水産課	
予算費目	一般会計	款 6	農林水産業費	項 1	農業費
				目 7	農地費
第2次 総合計画	基本目標	コード	5	項目	産業の活力とにぎわいがゆたかに行き渡るまち 生き生きと働くために 農業の振興
	重点目標		1		
	政策		1		
					第2次総合計画 172頁

対象	農業施設利用者	意図 (対象をどのようにしたいのか)	営農労力の軽減並びに生活環境の改善を図りたい
事務事業の概要	老朽化した水路、農道施設の改修を行い営農労力の軽減並びに生活環境の改善を図る。		

事務事業の成果指標	単位	2年度実績	3年度			6年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）				業務評価	重点業務
		指標名 事業費	単位	2年度実績 2年度決算	3年度実績 3年度決算		
1	農業農村整備標準積算システム運用・保守管理委託料	保守管理 事業費	式 千円	1 133	1 151	1 152	A
2	測量登記委託料	登記件数 事業費	件 千円	2 166	7 587	0 0	A
3	農業用施設（水路・農道）改修工事	工事件数 事業費	件 千円	1 7,407	3 8,765	1 500	A ◎
4		事業費	千円				
5		事業費	千円				
6		事業費	千円				
7		事業費	千円				
8		事業費	千円				
9		事業費	千円				
10		事業費	千円				
11		事業費	千円				
12		事業費	千円				
13		事業費	千円				
14		事業費	千円				
15		事業費	千円				
直接事業費の合計（千円） A				7,706	9,503	652	
職員人件費等		業務量（人工数）			1.06人	【業務評価】	
		人件費（千円） B			5,804	A：達成済 目標水準プラス見直し	
人件費を含む総事業費（千円） A+B					15,307	B：実施手法の要改善	
財源内訳		国庫支出金				C：目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し	
		県支出金					
		地方債			6,400	D：業務廃止・完了の意向	
		その他			143	E：3年度を以て廃止・終了	
		一般財源			8,764	F：一時的に実施無し	

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
近年、局地的な集中豪雨の頻度が高く、水路護岸の破堤に伴う農地被害や家屋浸水、または、農道の老朽化による補修など早急な対策が必要と考えられるため。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 既存の施設を対象とした改修であり、工事完了をもって目的を達成することとなることから、成果指標などは指定していない。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 既存の施設を対象とした改修であり、工事完了をもって目的を達成することとなることから、成果指標などは指定していない。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 光市が管理すべき水路、農道を対象とした事業であり、妥当であると判断できる。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	西村 猛	最終評価責任者 （部長名）	芳岡 統
--------------------	------	------------------	------

## 令和4年度事務事業評価シート（令和3年度決算）

事業コード	711 - 17 -	作成者氏名	松本 葉子	連絡先	0833-72-1494
事務事業名	加工センター管理運営事業		担当課	農林水産課	
予算費目	一般会計	款 6	農林水産業費	項 1	農業費
				目 8	農村施設運営費
第2次 総合計画	基本目標	コード	5	項目	産業の活力とにぎわいがゆたかに行き渡るまち 生き生きと働くために 農業の振興
	重点目標		1		
	政策		1		
					第2次総合計画 172頁

対象	施設利用者	意図 (対象をどのようにしたいのか)	施設の適正な維持管理を行い、利用者が適切に利用できるようにする。
事務事業の概要	施設の貸館を行うことで、施設での活動を通じた地域農業の振興及び農産物の有効活用を図るとともに、施設の維持管理を行い適正な利用環境を保つことで、利用者の利便性の向上と施設の長寿命化を図る。		

事務事業の成果指標	単位	2年度実績	3年度			6年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
加工センターの利用件数	件	146	134	150	89.3%	150	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費(千円)				業務評価	重点業務
		指標名 事業費	単位	2年度実績 2年度決算	3年度実績 3年度決算		
1	貸館業務	加工センターの利用件数 事業費	件 千円	146 538	134 558	150 676	A ○
2	施設維持管理業務	修繕・備品購入件数 事業費	件 千円	4 174	4 296	- 274	A ◎
3		事業費	千円				
4		事業費	千円				
5		事業費	千円				
6		事業費	千円				
7		事業費	千円				
8		事業費	千円				
9		事業費	千円				
10		事業費	千円				
11		事業費	千円				
12		事業費	千円				
13		事業費	千円				
14		事業費	千円				
15		事業費	千円				
直接事業費の合計(千円) A				712	854	950	
職員人件費等		業務量(人工数)			0.18人	【業務評価】 A: 達成済 目標準プラス見直し B: 実施手法の要改善 C: 目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し D: 業務廃止・完了の意向 E: 3年度を以て廃止・終了 F: 一時的に実施無し	
		人件費(千円) B			1,297		
人件費を含む総事業費(千円) A+B					2,151		
財源内訳		国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他				82	
		一般財源			2,069		

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
地域農業の振興及び農産物の有効活用を図るため設置された施設であり、適切な運営と維持管理が必要であるため。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 主に味噌や豆腐の加工のために利用され、利用時期に偏りはあるものの、施設は効率的に利用されている。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 適切な管理運営、また、維持管理が行われることによって本施設は効果的に使用されるため、適切である。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 地域農業の振興及び農産物の有効活用を図るため設置された施設であるという観点から、市において管理することは適切である。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	西村 猛	最終評価責任者 （部長名）	芳岡 統
--------------------	------	------------------	------

## 令和4年度事務事業評価シート（令和3年度決算）

事業コード	711 - 19 -	作成者氏名	藤岡 晴恵	連絡先	0833-72-1509
事務事業名	市民の森保全事業		担当課	農林水産課	
予算費目	一般会計	款 6	農林水産業費	項 2	林業費
第2次 総合計画	基本目標	コード	5	項目	産業の活力とにぎわいがゆたかに行き渡るまち 生き生きと働くために 林業の振興
	重点目標		1		
	政策		2		
					第2次総合計画 175頁

対象	市民の森（保健保安林）の利用者	意図 (対象をどのようにしたいのか)	市民の森一帯は、昭和52年に保安林に指定され、森林浴・レクリエーションの場として整備された。今後も適正な維持管理を行い、憩いの場として市民に提供する。
事務事業の概要	保健保安林である市民の森の草刈及び植栽樹の剪定作業を実施し、市民や来場者に対して安らぎと憩いの場所を提供する。		

事務事業の成果指標	単位	2年度実績	3年度			6年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
維持管理箇所数	箇所	9	5	9	55.6%	6	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）				業務評価	重点業務
		指標名	単位	2年度実績	3年度実績		
		事業費	単位	2年度決算	3年度決算	4年度予算	
1	市民の森維持管理業務	維持管理箇所数	箇所	9	5	6	A ◎
		事業費	千円	2,068	1,490	1,500	
2		事業費	千円				
3		事業費	千円				
4		事業費	千円				
5		事業費	千円				
6		事業費	千円				
7		事業費	千円				
8		事業費	千円				
9		事業費	千円				
10		事業費	千円				
11		事業費	千円				
12		事業費	千円				
13		事業費	千円				
14		事業費	千円				
15		事業費	千円				
直接事業費の合計（千円） A				2,068	1,490	1,500	
職員人件費等		業務量（人工数）			0.17人		【業務評価】 A：達成済 目標水準プラス見直し B：実施手法の要改善 C：目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し D：業務廃止・完了の意向 E：3年度を以て廃止・終了 F：一時的に実施無し
		人件費（千円） B			1,225		
人件費を含む総事業費（千円） A + B						2,715	
財源内訳		国庫支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源				2,715	

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
保健文化機能を持つ市民の森は保健保安林にも指定されており、市民の憩いと安らぎの場として、その機能を発揮させていくためには、継続的な維持管理の実施が必要である。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 室積千坊・大峯における12ヶ所の市民の森においては、現地の状況に応じて、下刈や枝打ち等の維持作業を実施し、市民や来場者に対して憩いと安らぎの場を持続的に提供している。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 近年では、心身への癒しや安らぎの場を提供する森林のはたらきに対する期待が高まりつつあり、市民へ安らぎと憩いの場を提供する本事業は有効である。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 市民の森が有する保健文化機能を適切な水準で管理するためには、市による継続的・計画的な維持管理の実施が不可欠である。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	西村 猛	最終評価責任者 （部長名）	芳岡 統
--------------------	------	------------------	------

## 令和4年度事務事業評価シート（令和3年度決算）

事業コード	711 - 22 -	作成者氏名	藤岡 晴恵	連絡先	0833-72-1509
事務事業名	自然敬愛推進事業	担当課	農林水産課		
予算費目	一般会計	款 6	農林水産業費	項 2	林業費
第2次 総合計画	基本目標	コード	4	項目	自然と都市が潤いゆたかに調和したまち 自然を守り育てるために 自然敬愛都市の実現
	重点目標	1			
	政策	1			
					第2次総合計画 146頁

対象	市民(森林・海岸等利用者及び環境学習参加者)	意図 (対象をどのようにしたいのか)	森林のはたらきを知り、現代にあった森との共生について考え、次世代を生きる子どもたちへ、健康な森林を継承していく。
事務事業の概要	自然敬愛基本構想に基づき、市民と協働で快適な自然環境づくりを推進し、市民や訪れる方々に安らぎと憩いの場、環境学習の場を提供する。市民参画により白砂青松の美しい海岸松林を保全する。		

事務事業の成果指標	単位	2年度実績	3年度			6年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
白砂青松10万本大作戦	本	188	52	52	100.0%	50	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費(千円)				業務評価	重点業務	
		指標名	単位	2年度実績	3年度実績			4年度目標
1	伊藤公の森周辺保育	保育面積	ha	5	5	5	A	
		事業費	千円	1,760	1,815	2,000		
2	白砂青松10万本大作戦	植栽本数	本	188	52	50	A	◎
		事業費	千円	0	21	50		
3		事業費	千円					
4		事業費	千円					
5		事業費	千円					
6		事業費	千円					
7		事業費	千円					
8		事業費	千円					
9		事業費	千円					
10		事業費	千円					
11		事業費	千円					
12		事業費	千円					
13		事業費	千円					
14		事業費	千円					
15		事業費	千円					
直接事業費の合計(千円) A				1,760	1,836	2,050		
職員人件費等		業務量(人工数)			0.32人		【業務評価】	
		人件費(千円) B			2,305		A: 達成済 目標準プラス見直し B: 実施手法の要改善 C: 目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し D: 業務廃止・完了の意向 E: 3年度を以て廃止・終了 一: 一時的に実施無し	
人件費を含む総事業費(千円) A+B						4,141		
財源内訳		国庫支出金						
		県支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源				4,141		

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
自然敬愛基本構想に基づき、行政と市民、事業者の三者が緊密な協働・連携を推進するため、市民参画による海岸松林等の保全活動は非常に重要な役割を果たしている。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 森林や海岸松林などに触れあう機会が少ない中、森づくりや松の植栽・清掃等の学習の場を提供することにより、市民の自然敬愛精神を育むことができる。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 森林保全活動の実施や森林の働き等を知る学びの場を創出することは、市民と協働で快適な自然環境づくりを推進するために有効である。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 事業の実施には、行政と市民、事業者の三者が緊密な協働・連携が不可欠であり、実施主体への協力など積極的に行う必要がある。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	西村 猛	最終評価責任者 （部長名）	芳岡 統
--------------------	------	------------------	------

## 令和4年度事務事業評価シート（令和3年度決算）

事業コード	711 - 25 -	作成者氏名	藤岡 晴恵	175	0833-72-1509
事務事業名	市有林管理事業		担当課	農林水産課	
予算費目	一般会計	款 6	農林水産業費	項 2	林業費
				目 3	市有林造林費
6	基本目標	コード	5	項目	産業の活力とにぎわいがゆたかに行き渡るまち 生き生きと働くために 林業の振興
	重点目標		1		
	政策		2		
					第2次総合計画 175頁

対象	市有林	意図 (対象をどのようにしたいのか)	適正に管理することにより市有林の持つ公益的な機能を発揮させる。
事務事業の概要	国庫補助金等を活用し、市有林経営計画等に基づいた市有林の造林及び保育、維持管理等の事業を実施し、森林の公益的機能の発揮を図る。		

事務事業の成果指標	単位	2年度実績	3年度			6年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
市有林造林事業	ha	12.91	11.25	14.51	77.5%	14.51	
市有林管理事業	ha	7.11	6.81	7	97.3%	6.81	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費(千円)				業務評価	重点業務	
		指標名	単位	2年度実績	3年度実績			4年度目標
		事業費	単位	2年度決算	3年度決算	4年度予算		
1	市有林造林事業	施業面積	ha	13	11	10	A	◎
		事業費	千円	7,287	4,697	5,250		
2	市有林管理事業	管理面積	ha	7	7	7	A	○
		事業費	千円	4,754	3,861	4,070		
3	市有林国営保険事務	保険加入面積	ha	342	343	343	A	
		事業費	千円	1,581	1,596	1,625		
4		事業費	千円					
5		事業費	千円					
6		事業費	千円					
7		事業費	千円					
8		事業費	千円					
9		事業費	千円					
10		事業費	千円					
11		事業費	千円					
12		事業費	千円					
13		事業費	千円					
14		事業費	千円					
15		事業費	千円					
直接事業費の合計(千円) A				13,622	10,154	10,945		
職員人件費等		業務量(人工数)			0.37人	【業務評価】		
		人件費(千円) B			2,665	A: 達成済 目標水準プラス見直し B: 実施手法の要改善		
人件費を含む総事業費(千円) A+B					12,819	C: 目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し		
財源内訳		国庫支出金				D: 業務廃止・完了の意向		
		県支出金			1,710	E: 3年度を以て廃止・終了		
		地方債				F: 一時的に実施無し		
		その他						
		一般財源			11,109			

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
水源かん養や山地災害防止、保健保養等の公益的機能を発揮させるため、市有林経営計画に基づき、計画的かつ効率的な造林、保育、維持管理の実施が重要である。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 全国森林計画及び地域森林計画に基づき、市有林経営計画を策定し、計画的な造林及び繁茂竹林の伐採等を実施することで、市有林の森林環境の改善に寄与している。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 本事業による計画的かつ効率的な造林事業の実施は市有林の公益的機能の発揮に有効な事業である。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 約半世紀以上の年月と多くの労力を必要とする森林整備には、長期的な展望が必要であることから、その森林に対する経営計画を策定し、造林事業を実施することは妥当である。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	西村 猛	最終評価責任者 （部長名）	芳岡 統
--------------------	------	------------------	------

## 令和4年度事務事業評価シート（令和3年度決算）

事業コード	711 - 28 -	作成者氏名	村上 裕二	連絡先	0833-72-1498
事務事業名	水産振興事務費	担当課	農林水産課		
予算費目	一般会計	款 6	農林水産業費	項 3	水産業費
				目 2	水産業振興費
第2次総合計画	基本目標	コード	5	項目	産業の活力とにぎわいがゆたかに行き渡るまち 生き生きと働くために 水産業の振興
	重点目標		1		
	政策		3		
					第2次総合計画 177頁

対象	山口県漁業協同組合光支店、関係団体	意図 (対象をどのようにしたいのか)	漁業者の資本整備の高度化や経営の近代化及び経営安定化を図る。
事務事業の概要	近年の漁業就業者の減少や高齢化をはじめ、漁場環境の悪化、水産資源の減少、魚価の低迷など大変厳しい環境にあることから、漁業経営の安定化と、漁業後継者の育成に対する支援を行う。		

事務事業の成果指標	単位	2年度実績	3年度			6年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
新規漁業就業者数(累計)	人	7	8	10	33.3%	10	
光市管内へのアワビ中間育成種苗放流	千個	42	42	50	84.0%	50	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費(千円)					業務評価	重点業務
		指標名 事業費	単位	2年度実績 2年度決算	3年度実績 3年度決算	4年度目標 4年度予算		
1	水産振興一般業務	一般業務 事業費	式 千円	1 6	1 537	1 2	A	
2	光・熊毛地区栽培漁業協会運営業務(負担金)	● 負担金件数 事業費	件数 千円	2 4,029	2 4,007	2 4,146	B	○
3	光市熊毛郡地区魚食普及推進協議会運営業務(負担金)	● 負担金件数 事業費	件数 千円	1 30	1 30	1 30	A	
4	栽培漁業センター施設修繕業務	修繕件数 事業費	件数 千円	2 182	1 69	- 100	A	
5	内海地区水産環境整備事業	負担金件数 事業費	件数 千円	- -	1 2,137	1 1,350	A	
6	ひと・しごと定住総合支援事業	補助件数 事業費	件数 千円	2 522	6 1,022	3 750	A	◎
7	水産多面的機能発揮対策事業	● 負担金件数 事業費	件数 千円	1 44	- -	- -		
8		事業費	千円					
9		事業費	千円					
10		事業費	千円					
11		事業費	千円					
12		事業費	千円					
13		事業費	千円					
14		事業費	千円					
15		事業費	千円					
直接事業費の合計(千円) A				4,813	7,802	6,378		
職員人件費等		業務量(人工数)			0.60人		【業務評価】 A: 達成済 目標準プラス見直し B: 実施手法の要改善 C: 目標水準マイナス見直し 実施手法の見直し D: 業務廃止・完了の意向 E: 3年度を以て廃止・終了 F: 一時的に実施無し	
		人件費(千円) B			4,322			
人件費を含む総事業費(千円) A+B						12,124		
財源内訳		国庫支出金						
		県支出金						
		地方債				1,900		
		その他						
		一般財源				10,224		

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
漁業者の高齢化及び後継者不足を改善するため、新規漁業就業者を確保することで水産業の活性化を図る。また、光・熊毛地区栽培漁業センターによる水産種苗の中間育成の支援を行い、つくり育てる漁業の推進を図る。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 ひと・しごと定住総合支援事業は、新規漁業就業者確保に欠かすことのできない事業であり、本市の水産業活性化に有効である。また、水産種苗の中間育成については、漁業者の収益増に寄与するため、事業を推進していく。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 ひと・しごと定住総合支援事業や、中間育成事業は、目的達成のために業務構成は有効と判断できる。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 山口県漁業協同組合光支店、山口県栽培漁業公社及び光・熊毛地区栽培漁業協会との連携が必要という理由から、光市が実施主体であることは妥当である。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	西村 猛	最終評価責任者 （部長名）	芳岡 統
--------------------	------	------------------	------

## 令和4年度事務事業評価シート（令和3年度決算）

事業コード	711 - 31 -	作成者氏名	村上 裕二	連絡先	0833-72-1498	
事務事業名	海岸保全管理事業		担当課	農林水産課		
予算費目	一般会計	款 6	農林水産業費	項 3	水産業費	
				目 5	海岸保全費	
第2次 総合計画	基本目標	コード	4	項目	自然と都市が潤いゆたかに調和したまち	
	重点目標		1			自然を守り育てるために
	政策		1			自然敬愛都市の実現
					第2次総合計画 146頁	

対象	沿岸の住民	意図 (対象をどのようにしたいのか)	既存施設の補修等を実施し、背後集落及び国土の保全を図る。
事務事業の概要	施設の効率的な維持管理を行う。		

事務事業の成果指標	単位	2年度実績	3年度			6年度目標	類似団体等の実績値等
			実績	目標	達成度		
高潮被害件数	棟	0	0	0	100.0%	0	

◆事務事業（予算事業）を構成する業務◆

番号	業務の名称 (●=行動計画対象業務)	活動指標・事業費（千円）				業務評価	重点業務
		指標名 事業費	単位	2年度実績 2年度決算	3年度実績 3年度決算		
1	陸間維持管理業務	背後地の高潮被害件数 事業費	件 千円	0 128	0 130	0 131	A ◎
2	漂着物撤去業務	漂流物による船舶事故件数 事業費	件 千円	0 305	0 393	0 400	A ○
3		事業費	千円				
4		事業費	千円				
5		事業費	千円				
6		事業費	千円				
7		事業費	千円				
8		事業費	千円				
9		事業費	千円				
10		事業費	千円				
11		事業費	千円				
12		事業費	千円				
13		事業費	千円				
14		事業費	千円				
15		事業費	千円				
直接事業費の合計（千円） A				433	523	531	
職員人件費等		業務量（人工数）		0.71人		【業務評価】	
		人件費（千円） B					
人件費を含む総事業費（千円） A + B				5,637		A：達成済 目標準プラス見直し B：実施手法の要改善 C：目標準マイナス見直し 実施手法の見直し D：業務廃止・完了の意向 E：3年度を以て廃止・終了 F：一時的に実施無し	
財源内訳		国庫支出金		5,637			
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源		5,637			

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由
陸閘を適切に管理することで、台風や高潮被害から沿岸住民を守り、安心・安全な環境整備を確保する。

◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 台風等の高潮に対し、適切に陸閘を開閉することで、被災防止を図る。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 陸閘を適切に開閉することで、被災防止を図ることは、沿岸住民への安心・安全の確保につながるという理由から、業務の構成は有効と判断できる。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等（企業、地域団体、NPO等）の役割分担が適切かどうか分析する。 沿岸住民の安心・安全を確保するという理由から、光市が実施主体であることは妥当である。

◇担当課における改善等の案◇（※以下、意思形成過程につき非公開）

事務事業執行責任者 （課長名）	西村 猛	最終評価責任者 （部長名）	芳岡 統
--------------------	------	------------------	------